

書写通信

姫路工業大学
アメリカン
フットボール部
OB会報

TO OLD BLUE

2002 第10号 [夏号]

2002年08月05日
編集責任者 田中 角栄
吹田市津雲台3-2-A11-304

>>> 2002年秋季リーグ戦日程 <<<

関西 DIV Aブロック

大学名	今期試合日程・会場	昨年成績
神戸学院大学	9月 8日 13:30 ; 万博球技場	Div A 5位
流通科学大学	9月21日 11:30 ; 西宮球技場	Div A 4位
岡山理科大学	10月 5日 16:30 ; 西宮球技場	Div E 4位
姫路獨協大学	10月26日 11:00 ; 西宮球技場	Div A 3位
岡山大学	11月 4日 15:30 ; 西宮球技場	Div A 6位

7月になりようやく関西学生連盟より関西 Div リーグ編成が発表されました。6月末時点で規定人数の20名の登録が出来ない場合は、今年から新規に構成される6人制リーグへ参加、もしくは秋季リーグ戦辞退のいずれかを選択することが関西学生連盟理事会で決定された為に、毎年リーグ編成が大幅に変更していく傾向となりました。

数年前まで Div の他リーグと比較してレベルの低かったAブロックが、所属大学が毎年変更していくことによって Div の中で徐々に高いレベルのリーグになりつつあります。関西学生連盟所属以来、常にAブロックで上位に食い込んでいる姫路獨協大学、Bブロックで毎年優勝を繰返していた神戸学院大学、Fブロックで常に優勝

争いを繰り返していた流通科学大学、そして昨年まで Div に所属していた岡山大学、どのチームも強敵ばかりです。この春 Blue Liners は、主に新入生を含めた下級生のスキルアップを目的として取り組み、試合では一年生を含めた下級生を積極的に参加させるようにしてきました。少しずつその成果が現れ始めたように感じられますが、秋に戦う強敵達と対戦するにはまだまだ力不足が否めません。この課題を埋めることが、シーズンが開始されるまで残りヶ月間の最大の取り組みになると思われます。新入生全員が持っているポテンシャルは非常に高いので、彼らの力をどこまで伸ばすことが出来るか、そしてチームの結束がどこまで高められるかが非常に重要な鍵となりそうです。

試合会場への交通手段

万博球技場



大阪モノレール万博公園下車、東へ徒歩10分

西宮球技場



阪急西宮北口下車、南へ徒歩5分

2002年度 新入部員紹介

名前 出身高校 高校の時にやっていたスポーツ 一言



中之宮 奏 鹿児島県
立加世田高校 なし



岩口 綾子 兵庫県立龍
野高校 …… つく
します



中道 由実子 兵庫県立
龍野高校 剣道 がんば
ります



寺谷 悟 和歌山県立向
陽高校 サッカー イン
セブ決める



北原 忠明 福岡県立戸
畑高校 サッカー タッ
チダウン決める



松本 豪 兵庫県立兵庫
高校 野球 目指せ甲子
園!?



高野 清之 京都市立塔
南高校 サッカー マイ
ペースで…



毛利 光宏 兵庫県立姫
路東高校 柔道 努力



宮本 卓 私立開明高校
サッカー 毎日牛乳を飲
む



山口 裕紀 和歌山県立
向陽高校 なし ムキム
キになる



中上 和彦 姫路工業
大学付属高校 バスケット
…



重田 剛 平城高校
バスケット i love this game

2001年度会計報告

収入		支出	
OB会費	263,000	スポッター・タイムクロック	170,000
		ビデオカメラ	50,000
		ボール(5個)	36,225
前年度立替費	6,000	グラウンド使用料金	3,150
預金利息	69	シーズン入場券	50,000
		OB通信配布費(3回分)	18,450
前年度繰越金	323,159	次年度繰越金	264,403
合計	592,228	合計	592,228

OB会費は、チームの発展に貢献するものを使うことと、本紙の配布、コーチングスタッフや役員、審判への交通費に充てることを目的として集めさせてもらっています。昨シーズンの支出は主に、発展に貢献する「モノ」が大半を占めています。コーチングスタッフや役員への交通費支給については前年同様、チーム目標が達成されなかったことから見送られました。

今後のOB会費運用については前年と同様の方針で使用していきます。それに加えて、昨年より外部のスポーツトレーナーを選手達が自己負担で指導を受けているので、この負担を補うことに使用したいと考えています。御了承頂きますよう御願します。

*** 監督交代の挨拶 ***

今シーズンより金谷さんの後任としてチームを率いることとなりました。田中角栄(96年理学部物質科卒)です。ここ数年、チームのフットボールに対する考え方、プレースタイル、スタッフの活動など大きく変化してきたと感じていました。この変化は誰でもなく、全て金谷さんの御尽力によるものでした。

その金谷さんがチームから離られるというお話を伺った時には、これからのBlueLinersはどうなるのか、と言う不安を感じたのが本心でした。おそらく選手を始め、他のスタッフ・関係者の方々も同じように思われたのではないかと思います。

しかし、このような考え方がある限り、チームは強くなれないのではないかと、いつまでも誰かに甘えているのではなく自分達の力で進んでいく、そういったチームにならなければ前進しないのではないかと考え後任の監督をお受けしました。

今季は、「自分達の力で進んでいくチーム作り」を基本方針に、最大の目的である二部昇格を達成できるよう取り組んでいきたいと考えております。今季も昨年と違わぬ応援を宜しくお願します。

編集後記

これまで理学部の増設、姫路短期大学との合併で大学としての規模を大きくしてきたことが少なからず部員の増加の一因でした。しかしチームをもつ学校同士が合併したらどうなるか。兵庫県は県内で県立大学は一本化する方針を決めており2004年の4月から姫路工業大学と神戸商科大学が合併します。同じ様な事例は国立大学でも決まっており神戸商科大学が神戸大学に吸収合併される見通しです。一般企業と同じで大学も統合/合理化の波が押し寄せるのは仕方ないのでしょうか。今のところ大学合併の形は正確には決まっていません。まず名前も決まっておらず、大学の規模(学部数)から考えて姫路工業大学の名前が残ることも一案としてあるようです。

しかし神戸商科大も西神の学園都市に新しいキャンパスを構えて間もないことから各キャンパスの分散化は避けられません。チームはどうなるか。関西学生アメリカンフットボール協会の方針は「大学で一チームの加盟しか認めないに変わり有りません。加盟チーム数が増えているがその反面、部員数が規定に満たないチームが増加したため、6人制フットボールのリーグを新設したという苦しい状況を考えれば大学の合併は加盟チーム数の適正化と安定した部員数の確保の面で協会としては喜ばしいことでしょう。大学側の対応としてチームの合併云々は各運動部単位で独自に話をして欲しいこと。

現時点でのスタッフ、選手ともの考えは合併をチーム力を上げるチャンスとして利用する。しかしそれは主導権をブルーライナーズが握ってでの合併であり、そのため今我々ができることは早く2部に昇格し、実力、部員数、スタッフも含めたチームの総合力を神戸商科大より高く持つことです。本件についてはチーム発足以来初めての事例でもあり諸先輩のご意見を是非とも伺いたいと思います。また詳しい状況が判明次第その都度連絡します。(匠)

昔の俺、今の俺



姫路工業大学アメリカンフットボールOBの皆様、お元気でしょうか？昭和63年応用化学科卒業の岩谷浩樹です。前回の書写通信での伊藤君のリクエストにお応えして筆をとらせていただきます。伊藤君（イトッチュ）と言えば、新歓コンパのときにぶっ倒れて、介抱した思い出がありますね。今から考えるとあれは紛れもない「急性アルコール中毒」ってやつで、救急車も呼ばず申し訳なかったです。

現在、私はユニチカ㈱に勤めています。入社以来、「活性炭繊維」という吸着材に関わっており、当初は中央研究所に配属でしたが、現在は大阪で営業をしております。紙面をお借りして営業させていただきますと、「活性炭繊維」というのは、冷蔵庫に入れる「キムコ」に入っている「活性炭」を繊維にしたもので、吸着速度が早いのが特徴です。主には浄水器のフィルターや空気清浄機のフィルターに使われていますが、私が扱っているのは「めっき用浄化フィルター」です。OBの皆様は、電気や機械関係の

ご職業が多いので、ぜひ一度、訪問させてください。

仕事の話はこれ位として、現役時代を振り返りますと、入部のきっかけは同じ下宿に柳川先輩が居て、井上先輩や橋本先輩に「チロリン村」で口説かれたことでした。「アメフト」＝「チアリーダー」＝「コンパ」＝「彼女」というように安易に考えた私はまんまと騙されて入部し、先輩方は驚かれるでしょうが、4回生では主将まで務めることになりました。ポジションは、当時は体が細かったのでエンドやフランカー、コーナーをやっていましたが、足が遅く皆様には大変迷惑をかけていたと思います。主将次代も練習が嫌いでろくなメニューを考えていませんでしたので、後輩諸君には頼りなかったのではないかと思います。ただ、練習後は楽しい思い出ばかりで、堀先輩と合コンに行ったり、同級生や後輩諸君と麻雀したりとかなり充実していました。（笑）

私が卒業してからは、匠君をはじめとしたコーチ陣が本格的なアメリカンフットボール部をつくっているのを書写通信で知り、後輩たちの近況や優秀な成績を聞かされたときに、感心すると同時に非常に誇りに思っていました。現在は部員不足が深刻な問題となっているようですが、諦めず、ひとりでも多くのブルーライナーズを増やしてください。アメフトをやっていたというのは今でも私の話ネタになっていますし、本人にとっても大きな財産になると思います。

最後になりましたが、現役、スタッフ、OBの方々のご健康と今後のご活躍をお祈りいたします。次回は、同級生で恐縮ですが、私を支えてくれた城領君にお願いしたいと思います。城領君よろしく！！

P.S. 仕事のお問い合わせはこちらまで E-mail acf-iwaya@unitika.co.jp